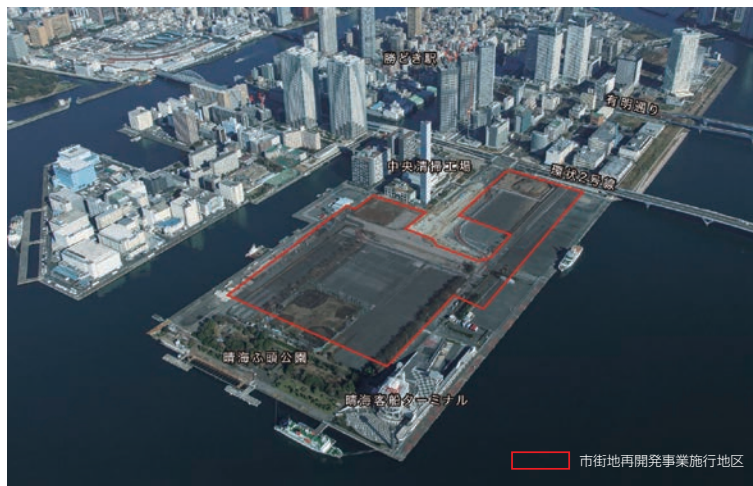


◆ まちづくりの概要

都は、晴海五丁目西地区第一種市街地再開発事業に平成 28 年 4 月に着手し、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会（以下、「大会」という。）の選手村の整備と、大会後のレガシーとなるまちづくりに取り組んでいます。

大会時には選手用の宿泊施設として一時使用し、大会後は住宅となる建物等について、特定建築者制度を導入し、民間事業者の資金と開発ノウハウを活用して整備を進めています。

大会後のレガシーとなるまちづくりに向けて、都心から近く海に開かれた立地特性を生かして、子育てファミリー、高齢者、外国人など多様な人々が交流し、いきいきと生活できるまちづくりを進めていきます。加えて、水素をまちのエネルギー利用として先導的に導入するなど、環境先進都市のモデルとなるまちの実現に向けた取組を推進していきます。



事業着手前の晴海五丁目西地区（平成 26 年 12 月撮影）



晴海の位置関係

